

## 平成29年度 第2回 恵那南高等学校魅力化プロジェクト推進協議会

日 時	平成30年2月6日(火) 10:30~12:30
場 所	恵那南高等学校 ガイダンスルーム
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>伊藤 勝彦 恵那市立明智中学校長  大嶋 英哉 恵那市明智振興事務所長  大畑 雅幸 恵那市教育長  加藤 博史 恵南商工会理事  鎌田 真悟 (株)恵那川上屋代表取締役社長  熊田 貴雅 恵那市明智振興事務所主査  小坂 喬峰 恵那市長  鈴木 隆一 NPO法人「いわむら一斎塾」理事長  成瀬 孝文 恵那南高等学校PTA会長  橋本 平紀 恵那市議会議員  服部 晃 岐阜女子大学教授  丸山 朝夫 明知鉄道(株)取締役専務  水野 正敏 岐阜県議会議員  安田 昭夫 恵那特別支援学校長  山口 義樹 岐阜県恵那県事務所長  度会 敏彦 恵那南高等学校同窓会長</p> <p>(高校側)</p> <p>林 尚志 校長  安藤 和昭 教頭  柴 成吉 教務主任  小島 光示 総合学科主任  川阪 浩之 魅力化主任</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>下野 宗紀 岐阜県教育委員会教育総務課</p>
議事概要	<p>1 小・中・高等学校の連携、地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浪漫学園は平成19年から始まり、10年が経過したが、歴代校長が精神を受け継いでいることに感謝している。</li> <li>・ 次期学習指導要領に、新たに、情報教育(プログラミング)とキャリア教育が入る。情報教育については、小・中学校で実施する場合、高校の情報の教科書が最適のテキストであり、浪漫学園の交流を活用するとよい。また、「なりたい自分に出会う」というキャッチフレーズを持ち、自分でカリキュラムを組み立てる単位制総合学科の恵那南高校は、キャリア教育の手本である。小・中学校は、この点でも恵那南高校の知見を活用するとよい。</li> <li>・ 浪漫学園が恵南地区全体を巻き込んだものになるとよい。</li> <li>・ 恵那市として「学校を核とした地域力強化プラン」の認可を受け、海老茶袴や英会話講師派遣などを行っている。もっと大々的に人の目につくようにしたい。ふるさと教育フェスタでの白川郷学園のプレゼンテーションは、オールイングリッシュでとうとうパフォーマンスし評価されていた。スマホでの観光案内をオールイングリッシュでやるなどするとよい。</li> </ul>

## 2 6次産業教育について

- ・ 6次産業学習も自分たちがやりたいと思わないといけない。今までは開発したものを提供したが、自分たちで企画、提案、プレゼンできるようにしたい。取組に共感し、愛着心ができればブランディングができる。お菓子を作ることができる学校となれば全県から来るのではないか。
- ・ 教育長への訪問が多くメディアに取り上げられた反響は大きかった。子どもたちが生き生きと語り、立派な広告塔になっていた。
- ・ その時のインタビューでは、立派な受け答えができていた。進路は皆、栗とは関係ない進路だったが、やってきたことは各自の中で生きている。
- ・ 6次産業教育が目的ではない。それを通してどういう能力を身に付け、進路決定や生徒の成長にどうつながっているかをアピールしてほしい。
- ・ 栗の学習を通して恵那南高校で何を学び、どう地域の担い手になっていくのかの取組がさらに発展していくように期待したい。

## 3 PR活動について

- ・ 進路希望動向を見ると市内中学校の希望者が少ない。生徒の意識よりも保護者の意識を変えるのが難しい。また、定員割れしている学校は格好悪いという意識もあるようなので変えたい。系列の工夫・改善とともに、生徒、保護者の意識を変えることを目指したい。
- ・ 恵那南高校の特長は、少人数教育と総合学科である。話題性を高めるため、SNSでの情報発信に取り組んでほしい。
- ・ 恵那南高校の2年生3名が、中学校に話しに来てくれた。本当によい話で、その効果もあり、8月体験入学に多くの生徒が参加したが、残念ながら、あまり希望者は集まっていない。小中高ずっと明智町では淋しいという気持ちも分かるが、それでも恵那南高校という気持ちにさせるのが課題である。
- ・ 自治会長会議、地域協議会などでPRし、理解を進めた。地域が元気にならないと学校も元気にならない。地域を元気にしたい。
- ・ 少人数と言うと淋しい印象があるが、授業、体育祭など見学したところ、生徒教師間、生徒同士の関係が近く、とてもよい雰囲気であった。これをPRできるとよい。

## 4 その他

- ・ 産社・総合学習発表会に、地元の一般の人はほとんど参加していなかったが、今の恵那南高校をもっとアピールしてほしい。
- ・ 産社・総合学習発表会は、年々よくなっており感激した。昨年や今年の発表から、生徒たちがとてもよい経験をしていることが伝わった。
- ・ 産社・総合学習発表会に、中学生が参加したことはよかった。来年度は恵那市南部の5中学の2年生全員が見られるようにしたい。ビジネスと観光系列も進路につながればよいアピールになる。
- ・ 地元の一般観覧者が少ないのが課題。大人に見せるには、平日昼間は難しいので日程の検討をしてほしい。
- ・ 学校や生徒は色々活発にやってくれている。選挙啓発もよくやってくれた。